

給水間近



●安里配水池（内径 49.7m、水深 7.1m、有効容量 13,300m³）

安里配水池って何処にあるんだらう？

皆さんは、安里配水池をご覧になったことがありますか？安里交差点からバイパス（国道330号線）を通過して少し北へ行くと、左手に四車線道路（新都心中環状線）があります。

その先に見える新都心地区で最も高い丘（慶良間チー・シユガローフ）の上にある白い建物が、安里配水池です。

安里配水池って何んで必要なの？

新都心地区は、今後整備され、約2万の人々が生活することになります。

又、この地区には、現在建設中である那覇国際高校（仮称）などの教育施設や文化施設、大規模な商業施設等が建設される予定です。

この地区に生活し、働き、ショッピング等に訪れたりする方々の使用する水を十分に確保するために、配水池が必

要となるのです。

さらに出来あがった安里配水池からは、古島地域や喜原地域等にも水道水を供給する予定です。

そのため、安里配水池は一万三千三百立方メートルの水を貯水することが出来、それは那覇市水道局が所有する配水池の中で最大の容量となっています。

その容量は、標準的な二十五メートル（二十五m×十六m×1m）の三十三杯分に相当し、地震が起こった際には緊急用水として使用できるまうになっています。

